

音声ファイルの無料ダウンロード



<http://text.asahipress.com/free/english>

この教科書の音声データは、上記アドレスから  
無料でダウンロード出来ます。

## は し が き

本書は、世界のいろいろな国の文化的側面を比較しながら、英文の読解力と英語学習の基礎となる文法力の復習を目的として編まれたテキストです。海外と日本との違いを知らながら、英語を使えるようになることを目指して学習していきましょう。

言葉や文化というものについて、私たちがいくら学習しても知らないことだらけです。日本に住んでいる私たちが当然だと思っていることが、異国の人にとっては非常に珍しいと感じていることもあるでしょう。たとえば、アメリカでタクシーに乗る際には、乗る人が自分でドアを開けます。日本ではだいたい自動ドアで、私たちがタクシーを止めれば、勝手に開きます。あるいは、日本や中国ではお椀を手持って口に近づけて食べることが当たり前ですが、欧米ではお椀（ボウル）を手で持ち、口に近づけて食べる、ということはほとんどありません。欧米では、だいたいのものはテーブルにおいて頂きます。日本で、ちょっとしたことに失敗した人に対して、「私もよくやるよ」とか「何をやっているんだ!」という軽い意味合いで笑うことがあります。これはあくまで親しみを込めたもので、笑いがその場を和ませているのです。ですが、ヨーロッパなど（特にドイツ）では、この笑いが「嘲笑」や「冷笑」として捉えられる場合があります。こうしたことは単に習慣の違いだ、と言えるかもしれません。ですが、このような違いを話題のきっかけにして各国の人々と仲良くなれるかもしれません。「アメリカでは～なの?」と話のきっかけにすることもできます。また「日本ではね…」と話を展開していくこともできます。ですから日本のこともしっかりと勉強してください。皆さんが外国に行ったら、その国のことを知りたいと思うのと同様に、日本を訪れている人も日本のことを知りたいと思っています。日本を知る、ひいては自分を知ることが外国語学習の入門なのかもしれません。

本書は、*Know the Differences, Broaden Your World!*『世界の常識；小さいけれど大きな違い』の姉妹版に当たります。姉妹版である *Learn the Differences, Broaden Your World!*『続・世界の常識：違いを知ったら世界も変わる!』を出版できることは非常に嬉しいことです。これも朝日出版社の皆さまのお陰だと思っています。また、本書の英文校閲では、Mary Tadokoro さんに丁寧に見て頂き、大変なご協力を仰ぎました。朝日出版社の日比野忠さんには、企画から制作にいたるまでしっかりとサポートして頂きました。どうもありがとうございました。その他このテキストに関わってくださった方々に対しましても、お礼申し上げます。

*Learn the Differences, Broaden Your World!*

— *Short Readings and Basic Grammar for Cultural Literacy* —

Copyright © 2016 by Asahi Press

All rights reserved. No part of this book may be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, including photocopying, recording or by any information storage and retrieval system, without permission in writing from authors and the publisher.

Photographs by iStockphoto

2015 年 秋 筆 者

## Contents

はしがき

<b>Unit 1 Given Name First Is Not the Rule in Many Places</b> ..... 2	
— 間違えない名前の呼び方 —	
文法：4つの品詞とその働き／前置詞	
<b>Unit 2 New Year's Day</b> ..... 8	
— 西洋の新年、東洋の新年 —	
文法：基本文型（1）—第1文型～第3文型／形容詞	
<b>Unit 3 Laundry</b> ..... 14	
— 洗濯物ってどこに干す？ —	
文法：基本文型（2）—第4文型、第5文型	
<b>Unit 4 How Do You Write the Date?</b> ..... 20	
— 日付けの書き方 —	
文法：疑問文／付加疑問文	
<b>Unit 5 The Sakura of Washington D.C.</b> ..... 26	
— ワシントンの桜 —	
文法：時制（1）—現在、過去、未来／句と節	
<b>Unit 6 A Global Beauty Standard?</b> ..... 32	
— 世界的な美の基準ってあるの？ —	
文法：時制（2）—進行形、完了形	
<b>Unit 7 Crosswalks</b> ..... 38	
— 横断歩道 —	
文法：助動詞	
<b>Unit 8 Forks, Chopsticks or Hands?</b> ..... 44	
— 何を使って食べる？ フォーク、お箸それとも手で食べる？ —	
文法：動名詞／副詞	
<b>Unit 9 A Friendly Way to Greet Foreigners</b> ..... 50	
— 挨拶のやり方って奥深い！？ —	
文法：to 不定詞	
<b>Unit 10 A Life of School Uniforms and School Lunches</b> ..... 56	
— 世界の給食と制服 —	
文法：受動態	
<b>Unit 11 Japanese Animation Heroes Have Fans All Over the World</b> ..... 62	
— 日本のアニメは世界で人気！ —	
文法：分詞／数・量を表す形容詞	
<b>Unit 12 American Work Hours and Overtime</b> ..... 68	
— アメリカの労働時間 —	
文法：接続詞／分詞構文	
<b>Unit 13 The Globalization of Christmas</b> ..... 74	
— クリスマスの祝い方いろいろ —	
文法：原級／比較級／最上級	
<b>Unit 14 Do You Have to Stop Working When You Have Kids?</b> ..... 80	
— 女性と仕事 —	
文法：関係代名詞／関係副詞	
<b>Unit 15 Do People's Names Change after Marriage?</b> ..... 86	
— 婚姻後の女性の名前 —	
文法：仮定法	

## UNIT

## 1

Given Name First Is Not the Rule  
in Many Places

—間違えない名前の呼び方—



## Reading



Speaking of names, Japanese usually write their family name first, then their given name, while in Western countries people write their names in the reverse order. However, these rules of concerning names can get more complicated when people go to other countries or speak in foreign languages.



For example, Japanese names can sometimes confuse people outside Japan. When Japanese people speak in English, they often change the order of speaking their names into given name + family name. However, in countries such as China, Korea, and Hungary, people use the same family name + given name arrangement as in Japan, but they don't change the order just because they are speaking English. So, "Suzuki Ichiro" would be perfectly understandable in many countries of the world outside of Europe. However, since the order usually becomes "Ichiro Suzuki" in English, in these countries, "Ichiro" is likely to be taken to be the family name.



Because there is such a wide variety of naming systems among countries, regions, and ethnic groups, it is almost impossible for us to remember all the customs regarding them. There is probably only one way to call someone by their name without making them angry, and that is to ask, "What would you like me to call you?"

## Notes

speaking of...: … (の話) と言えば family name: 姓、名字 (日本人の上の名) given name: 名 (日本人の下の名) such as...: (例えば) …のような arrangement: 配置 配列 ethnic group: 民族 (集団) (文化によって区分される場合の民族) for us to remember: 私たちが…を覚えている (Unit 9) regarding~: ~について

2 Learn the Differences, Broaden Your World!

## Build Up Your Vocabulary

本文中に使われている語・語句を必要なら形を変えて ( ) に補い、英文を完成させましょう。

custom	complicate	confuse	be likely to	region
--------	------------	---------	--------------	--------

- It ( ) be cold this winter.  
この冬は寒くなりそうです。
- This incident will probably ( ) people.  
この出来事はおそらく人々を混乱させるでしょう。
- When we enter a house, it is our ( ) to take off our shoes.  
家に上がるとき、靴を脱ぐのが私たちの習慣です。
- The situation was ( ) by Ralph's statement.  
ラルフの発言で、状況は複雑になった。
- We traveled through some ( ) in southwestern France.  
私たちはフランス南西部の地方をいくつか旅行してきました。

## Check Your Understanding

- 日本人が海外で名前を言うとき、たいていどのように言うのでしょうか。
- 中国、韓国、ハンガリーでは、
  - ① どのような順番で名前をもっていますか。
  - ② 英語を話しているときには、彼らの名前をどのように言いますか。
- 鈴木一郎の場合、どうして姓が「一郎」だと考えてしまうのですか。
- どうして各国の名前の呼び方の習慣を覚えるのは不可能なのでしょうか。

Grammatical Points

● 4つの品詞とその働き

必ず覚えてもらいたい品詞が4つあり、それらは名詞、動詞、形容詞、副詞です。これらは、これから勉強を進めていく上で常に出てくるものなので、非常に重要です。

Exercise for Your Understanding 1

( ) 内に a~d を補い、4つの品詞の働きを考えましょう。

名詞 ( )    動詞 ( )    形容詞 ( )    副詞 ( )

- a. 名詞以外を修飾する語
- b. 動作・状態を表わす語
- c. 名詞を修飾する語
- d. ものの名前や事柄を表わす語

Exercise for Your Understanding 2

次に挙げる語の品詞(名詞、動詞、形容詞、副詞)を( ) 内に答えましょう。

- 1. other [他の] ( )    2. world [世界] ( )    3. write [~を書く] ( )
- 4. he [彼] ( )    5. example [例] ( )    6. again [再び] ( )
- 7. become [~になる] ( )    8. various [いろいろな] ( )

品詞と文要素の関係

この4つの品詞は、文要素である主語、動詞、補語、目的語と深く関係しています。4つの品詞と文要素の組み合わせによって、5種類に分けることができます。英文を読む上で、大切なのでしっかりと覚えましょう。

第1文型	S    V 主語 + 動詞 名詞    動詞	SとVから出来ている文ですが、多くの場合、修飾語句がつき文が長くなります。
第2文型	S    V    C 主語 + 動詞 + 補語 名詞    動詞    形容詞か名詞	S=Cという関係があります。動詞には、remain (~のままである)、become (~になる)、look (~に見える) などがあります。
第3文型	S    V    O 主語 + 動詞 + 目的語 名詞    動詞    名詞	S≠Oという関係があります(ただし再帰目的語が来ている場合はS=O)。

第4文型	S    V    IO(人)    DO(物) 主語 + 動詞 + 目的語 + 目的語 名詞    動詞    名詞    名詞	indirect object (間接目的語) と direct object (直接目的語) の2つの目的語があり、IO ≠ DO という関係にあります。
第5文型	S    V    O    C 主語 + 動詞 + 目的語 + 補語 名詞    動詞    名詞    形容詞か名詞	O=Cという関係にあります。動詞には、think (OをCと思う)、believe (OをCと信じる) 等の他、知覚動詞 (feel, taste 等)、使役動詞 (make, let 等) が来ます。他の文型をとる動詞が5文型にも使われますので気をつけましょう。

第1文型    S    V  
主語    動詞

(1) That news appeared on the front page of *morning edition of the Asahi yesterday*.  
そのニュースは、昨日の朝日の朝刊第一面に出ていました。

第2文型    S    V    C  
主語    動詞    補語

(2) Sumo is the national sport of Japan.  
相撲は日本の国技です。

第3文型    S    V    O  
主語    動詞    目的語

(3) Our society has over 500 members.  
私たちの会の会員は500名を超えます。

第4文型    S    V    IO(人)    DO(物)  
主語    動詞    目的語    目的語

(4) Ms. Smith always gives me good advice.  
スミスさんは、いつも私にいいアドバイスをくれます。

第5文型    S    V    O    C  
主語    動詞    目的語    補語

(5) My parents named my baby Grace.  
両親は私の赤ちゃんをグレースと名付けました。

## Exercise for Your Understanding 3

次の各文の下線部は主語、動詞、補語、目的語どれに相当するでしょうか。

1. Cats are very mysterious animals.
2. That dog often barks late at night.
3. Talking with them makes me happy.
4. He knows everything about it.
5. Mia sent me a postcard from Belgium.

## ● 前置詞

前置詞とは「前に置く詞（ことば）」と書きますが、これは名詞の前に置くからです。つまり前置詞+名詞となって文中で働きます。

(6)  $\overset{s}{\text{Many forms}} \text{ (} \overset{v}{\text{of life}} \text{) } \overset{v}{\text{exist}} \text{ (} \overset{s}{\text{in the ocean}} \text{)}.$   
前+名                      前+名

海にはたくさんの種類の生物が生息しています。

この文中の of と in は前置詞です。of は life という名詞、in は ocean という名詞とセットになります。前置詞+名詞を整理すると、S と V で出来た文(第1文型)だと分かります。前置詞が出てきたら、必ずセットになる名詞を探してください。

## Exercise for Your Understanding 4

次の各文の下線部は前置詞です。セットになる名詞を含めて ( ) を付けて指摘しましょう。

1. The gigantic museum is between the pine trees.
2. Many useful things are made of cotton.
3. Tim spent his holiday at Biwako Lake in Shiga Prefecture.

## ● 前置詞の文中での働き

前置詞+名詞は文中で2つの働きを持ちます。

前置詞+名詞 { ① 形容詞的に働く (名詞を修飾・説明します)  
 ② 副詞的に働く (名詞以外を修飾・説明します)  
文頭にある場合、必ず副詞的に働きます

of life (前置詞+名詞) は名詞 forms を修飾している形容詞的な働きをしています

(7) Many forms (of life) exist (in the ocean).

in the ocean (前置詞+名詞) は動詞 exist を修飾している副詞的な働きをしています

of life は forms という名詞を修飾しています (=形容詞的に働いています)。in the ocean は exist という動詞を修飾しています (=副詞的に働いています)。このように、前置詞+名詞を整理すると文型の判別がしやすくなり、文がスッキリ見えます。

## Exercise for Your Understanding 5

次の各文に含まれている前置詞とセットとなる名詞と合わせて ( ) を付け、形容詞的に働いているのか、副詞的に働いているのかを指摘しましょう。

1. The smiling boy in the picture is my brother, Keith.
2. Tina left Tokyo for New York yesterday.
3. There is a dog under the table.
4. Traveling somewhere by air can take a toll on the body.
5. Her artworks have been sold in more than 20 galleries and shops across Japan.